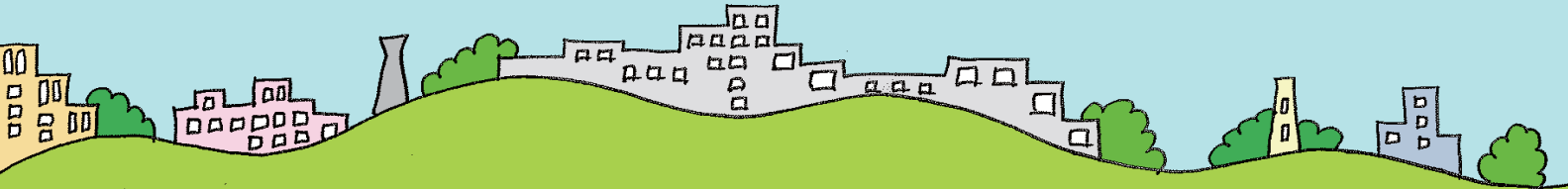


# 成熟期を迎えた 多摩ニュータウンのこれからを考える

NPO多摩ニュータウン・まちづくり専門家会議  
設立10周年企画



全国的に進む少子高齢化や人口減少に加え、多摩ニュータウンは建設から40数年が経過し、建物の老朽化、維持管理費負担の増大など様々な課題が顕著になると想定されます。一方で、恵まれた道路などの都市基盤や緑の環境、住宅資産、豊富な人材など全国にも誇るべき資源を有しています。NPO たま・まちせんの設立10周年の節目にあたり、「造るニュータウンから使うニュータウンへ」という視点に立って、成熟期を迎えた多摩ニュータウンの将来を考えるシンポジウムを開催します。

## 日時

平成27年**10**月**3**日(土)  
10:30 ~ 17:45

## 会場

多摩市 永山公民館5階  
ベルブホール  
(多摩市永山1-5)



【1部：特別展示】(10:30 ~ 13:00) 無料  
協力・支援団体による特別展示及び連携企画  
(順不同) 外断熱推進会議、多摩循環型エネルギー協会、  
多摩マンション管理士会、レガシー研究会、  
多摩ニュータウン学会、多摩プロバスケットボールクラブ

【2部：シンポジウム】(14:30 ~ 17:45、開場14:00)  
テーマ「成熟期を迎えた多摩ニュータウンの  
これからの住まいと暮らし方」  
◆セッションⅠ：講演及び問題提起(14:30 ~ 16:15)  
基調講演：大月敏雄氏  
(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授)  
『ニュータウンにながく住むこと』  
問題提起：戸辺文博(たま・まちせん 理事長)  
◆セッションⅡ：自由討論会(16:30 ~ 17:45)  
※大月氏とゲスト及び会場を含めて幅広い討論を行います。  
ゲスト 荒又美陽氏(恵泉女学園大学歴史文化学科准教授)  
松本真澄氏(首都大学東京都市環境学部助教)  
高森郁哉氏(多摩循環型エネルギー協会理事)

【3部：懇親会】(18:30 ~ )  
多摩永山情報教育センターで行います。

- 主催 NPO 多摩ニュータウン・まちづくり専門家会議
- 後援 多摩市
- 資料代 500円 (懇親会参加費は別途3500円)
- 定員 180名 (事前の申込みされた方を優先とします。)
- 問合せ NPO 多摩ニュータウン・まちづくり専門家会議  
電話 080 (4095) 9640、E-Mail: 10th@machisen.net
- 申し込み HP: <http://www.machisen.net/10th/form.php>